

【後期学校評価アンケート結果】

I 児童アンケート

A=あてはまる B=おおむねあてはまる C=ややあてはまらない D=あてはまらない 単位 (%)

NO	評価項目	A	B	C	D
1	学校は楽しい。	70	28	1	1
2	自分から進んでいさつや返事ができる。	46	43	9	2
3	係仕事や当番活動をしっかりと行っている。	73	25	1	1
4	友達と仲良くし、いじめがなくなるようにしている。	67	29	3	1
5	他の学年の友達とも仲良く遊んでいる。	48	26	17	8
6	授業中、先生の話をよく聞き、学習したことを覚えようとしている。	68	28	3	1
7	ドリルタイムに意欲的に取り組んでいる。	70	24	5	1
8	家庭学習に意欲的に取り組んでいる。	57	31	8	4
9	休み時間には元気に遊んだり、体育で一生懸命運動したりしている。	69	25	6	0
10	登下校や学校で安全に気を付けて生活している。	80	16	3	1
11	「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身についている。	46	32	18	4
12	携帯電話やゲーム等は、きまりを決めて使っている。	49	26	12	13
13	先生は、困ったときに相談に乗ってくれたり、解決したりしてくれている。	80	18	1	1
14	先生は、あなたの良いところやがんばったことをほめてくれる。	78	20	1	1
市内共通	授業に意欲的に取り組んでいる。	69	29	1	1
	授業はわかりやすい。	72	25	2	1
	授業で学習したことを理解している。	61	35	3	1
	あなたは、今の学校生活に満足している。	66	30	3	1

○ I 学期に続き、多くの項目で肯定的な回答 (A または B) をした児童が多かった。98%の児童が学校を楽しく感じており、今後も、引き続き「笑顔があふれる学校」になるように教育活動を行っていきたい。また、前回の課題の一つであった「家庭学習」については、肯定的な回答が、77%から88%に向上した。今後も、子ども達が意欲的に取り組むことができるように工夫していきたい。

●否定的な回答 (C または D) が多かったのは、「他学年との遊び」、「早寝・早起き・朝ごはん」、「携帯電話やゲーム」に関する項目だった。どれも、I 学期に比べると、否定的な回答が増えている。家庭の協力を得ながら、解決していく必要もあるが、再度、学校側としても対策を考えていきたい。

2 保護者アンケート

A=あてはまる B=おおむねあてはまる C=ややあてはまらない D=あてはまらない 単位(%)

NO	評価項目	A	B	C	D
1	お子さんの学校生活は充実していて、楽しく過ごしている。	48	46	3	3
2	お子さんは、挨拶や返事などの習慣が身についている。	31	58	11	0
3	お子さんは、係活動や当番活動など、自分の役割をしっかりと行っている。	57	41	2	0
4	学校は、いじめ根絶に向けて、人権尊重の指導を行っている。	28	65	4	3
5	お子さんは、縦割り班活動などを通して、他の学年の人たちとも仲良く遊んでいる。	44	44	10	2
6	お子さんは、授業に意欲的に取り組んでいる。	30	63	6	1
7	お子さんは、先生の話をよく聞き、学習したことを理解している。	30	59	8	3
8	お子さんは、ドリルタイムなどを通して、基礎的な学力を身につけている。	34	54	10	2
9	家庭では、家庭学習などを応援し、学習時間を十分確保している。	22	50	25	3
10	学校は、積極的に児童の学力向上に努めている。	36	59	2	3
11	お子さんは、積極的に運動し、健康な体つくりや病気の予防に取り組んでいる。	31	51	16	2
12	お子さんは、安全に気を付けて学校生活を送っている。	38	58	3	0
13	お子さんは、安全に気を付けて登下校している。	46	48	5	1
14	家庭では、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化に努めている。	37	46	16	1
15	家庭では、携帯電話やゲーム等のきまりを設けて使用している。	23	45	29	3
16	学校は、さくら連絡網や HP 等で、学校行事など、学校の様子を伝えている。	40	58	2	0
17	学校は、お子さんや家庭の相談に迅速かつ親身に対応している。	42	55	1	2
18	学校は、お子さんの個性や特性を理解して指導している。	35	59	4	2
19	学校は、お子さんが安心して安全に過ごせるように環境整備に努めている。	42	54	4	0
20	学校は、子どもと向き合う時間を確保している。	34	59	6	1
21	お子さんの学校生活に満足している。	45	50	4	1

○児童同様、多くの項目で、肯定的な回答が多くかった。日々の本校の教育活動に、御理解、御協力を賜り、心から感謝申し上げます。良い点はさらに継続し、改善に向けて、いただいた御意見につきましては、真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしてまいります。

●否定的な回答が多かったものは、前回同様、「家庭学習」と「携帯電話やゲーム」に関する項目だった。学校でも情報モラル等の情報教育を推進していき、学習したことを家庭でも実践できるようにしていきたい。また、習い事等、御家庭でも忙しいとは思いますが、子ども達の家庭学習の時間を確保していただけるよう御協力お願いします。

【保護者自由記述から】

たくさんの御意見、御感想ありがとうございました。保護者の皆様の御意見や学校の考え方を要約して掲載させていただきました。(※は学校からの回答)

〈学習・生活面〉

○2学期は慣れも出てきた中、ぶつかる問題もあったが、本人は変わらず楽しく学校に通えていてよかった。

○担任の先生が優しく見守って下さっているおかげで、落ち着いて学校に行けているので、とても有難い。

○担任の先生はトラブルが起きた時に子供達の間に立って話を聞いてくれていて、何故そのような事をしてしまったのか、子供達の気持ちをちゃんと聞いてくれていると知り、感謝している。細かい所も見てくれていて、子どもの気持ちを理解しながら指導して頂けているので、安心出来ている。

●挨拶がたまに疎かになるので(声が小さい)それだけ重要だと教えていきたい。

※挨拶については、職員の評価でも低くなっています。挨拶の大切さ等を話し合う等しながら、進んで挨拶ができるひなたっ子になるようにしていきます。

●授業によっては、クラスの雰囲気が良くないと聞きました。何か改善点はないのでしょうか?

※御心配をお掛けしています。職員一人一人が、自分自身の学習の進め方を振り返り、子ども達が意欲的に取り組むことができるようにしていきます。

〈学校行事関係〉

●マラソン大会から記録会になったのが残念です。それを目標に頑張っている所もありました。1人1人得意、不得意な事も違うので、何でも無くしていくのは、子供のやる気を削いでしまうようで心配です。

●マラソン記録会について、昨年度の時点で、大会から記録会に変更になるかもしれないということは分かっていましたが、11月の学校だよりに、何の説明もなく 記録会 と書かれており、それで初めて知りました。色々な考えがあることは理解していますが、経緯も併せて知りたかったです。

※マラソン記録会については、様々な点で御心配をお掛けし申し訳ありませんでした。今回の実施にあたり、学校行事から体育科の学習としての位置づけをより明確にしました。10月に配付したお手紙でもお知らせしたように、「児童一人一人が自分のペースで体力向上を目指し、過度な競争ではなく自己記録への挑戦を目的とした取り組みにすること」をねらいとしました。

学校側としても、今回の記録会を通して、成果と課題が見えてきました。来年度に向けて、子ども達の意欲等を引き出し、体力向上に向けて、実施方法等を検討していきます。

〈その他・教育活動全般〉

・体力、筋力のなさを感じています。どんどん鍛えて頂きたいです。

※体力向上については、スクールバスによる上下校を実施している本校では、大きな課題の一つとなっています。体育の学習を中心に、体力をはじめ、各力を向上することができるようにしていきます。

3 職員アンケート

A=あてはまる B=おおむねあてはまる C=ややあてはまらない D=あてはまらない 単位 (%)

NO	評価項目	A	B	C	D
1	児童の学校生活は充実していて、楽しく過ごしている。	39	56	6	0
2	児童は、挨拶や返事などの習慣が身についている。	6	33	44	17
3	児童は、係活動や当番活動など、自分の役割をしっかりと行っている。	28	61	11	0
4	いじめ根絶に向けて、人権尊重の指導を行っている。	72	28	0	0
5	児童は、縦割り班活動などを通して、他の学年の人たちとも仲良く遊んでいる。	39	61	0	0
6	児童は、授業に意欲的に取り組んでいる。	28	72	0	0
7	児童は、先生の話をよく聞き、学習したことを理解している。	11	83	6	0
8	児童は、ドリルタイムなどを通して、基礎的な学力を身につけている。	22	78	0	0
9	児童は、家庭学習に意欲的に取り組んでいる。	6	39	56	0
10	積極的に児童の学力向上に努めている。	56	44	0	0
11	児童は、積極的に運動し、健康な体つくりや病気の予防に取り組んでいる。	33	50	17	0
12	児童は、安全に気を付けて学校生活を送っている。	33	61	6	0
13	児童は、安全に気を付けて登下校している。	28	72	0	0
14	「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化に向けて指導している。	22	50	28	0
15	家庭では、携帯やゲーム等のきまりを設けて使用するように指導している。	33	56	11	0
16	学校は、さくら連絡網やHP等で、学校行事など、学校の様子を伝えている。	78	22	0	0
17	児童や家庭の相談に迅速かつ親身に対応している。	61	39	0	0
18	児童の個性や特性を理解して指導している。	56	39	6	0
19	児童が安心して安全に過ごせるように環境整備に努めている。	72	28	0	0
20	子どもと向き合う時間を確保している。	28	72	0	0

- 「挨拶・返事」、「家庭学習」、「早寝・早起き・朝ごはん」の項目で、否定的な回答が多かった。児童や保護者の評価と共通している項目もある。これまでの手立て等を見直し、これらの項目について、どのように解決していくべきか考えていきたい。